

果樹病虫害発生予察調査結果（8／25調査分）
（三条、加茂、田上地域）

8月25日に実施した予察調査結果についてお知らせいたします。

（共 通）

- ナシヒメシンクイの誘殺数が増加傾向です。例年、**9月上旬**が誘殺ピークとなります。収穫期に近い品種へのドリフトに注意しながら、定期的な防除を継続しましょう。
- 一部で、**ハダニ類**の発生が確認されています。9月上旬から中旬頃までに、主幹や主枝基部に古布や古新聞を巻き付け、2月中旬までに外して処分するバンド誘殺を行い、越冬数を減少させましょう。ナシヒメシンクイ等にも有効です。

（ナ シ）

調査地点ごとに5新梢、100果を調査しました。

- セイヨウナシ褐色斑点病は新梢葉での発生が増加しています。満遍なく薬剤がかかるようSSの走行路に注意し、ほうき枝となりそうな徒長枝は随時整理しましょう。
- 今回調査で**黒星病**の発生は確認されませんでした。発生量の少ない状態が続いていますが、暑さが落ち着くと多発生が懸念されます。り病葉・り病果を確認した場合は早期に除去し、感染拡大を防ぎましょう。

（モ モ）

調査地点ごとに100新梢を調査しました。

- **せん孔細菌病**は一部園地において、新梢葉への発病が確認されています。秋季感染は翌春の春型枝病斑の増加につながるので、収穫後防除を実施し被害防止に努めましょう。

(ブドウ)

調査地点ごとに１００葉、１００果房を調査しました。

- 今回調査でチャノキイロアザミウマの発生が確認されませんでしたが、９月中旬頃まで果実加害が続くため適宜防除を実施し、被害防止に努めましょう。
- 今回調査で病害は確認されませんでしたが、褐斑病やべと病は早期落葉につながるので収穫後防除や、り病部位の除去で被害を防ぎましょう。

次回調査は９月１０日（木）を予定しています。

担当　：中越支所　果樹共済係 TEL：０２５８－３６－８１０５ FAX：０２５８－３４－８０２０
--